

編集後記

(55巻 第2号 2009年2月)

いよいよ米国にアフリカ系大統領が誕生した。100年に一度と言われる未曾有の経済危機と、米国初の黒人大統領という組み合わせがどのような結果をもたらすのか。日本にも甚大な影響があるだけに大きな期待とともに一抹の不安を感じざるを得ない。

全米を熱狂させた「My fellow citizens」から始まる就任演説を聞き、皆さんはどのように感じられたでしょうか。過去の反省に立ちながらも、米国が正義を貫いてきたという自信と歴史に裏付けられた誇りとを声高らかに演説しているように思えた。基本的な国の有り様を国民に語りかける姿勢さえない今の日本の政治家には望むことの出来ない名演説だった。

いっぽうで、「America」「We (us)」を連呼し、集まった大観衆から熱狂的な声援をうける映像を見ていると、9.11テロの時、いたるところで打ち振られる米国国旗を見た時のような違和感も感じざるを得なかった。現時点で支持率はなんと68%で、不支持率はわずか12%と言われている。施策がうまく行かなかった場合、黒人大統領に対してネガティブな反動が増幅されないかと心配している。いずれにせよ、オバマ大統領のもとで米国が良い方向で「Change」することを期待するのみである。

(小川 修)